

増刷出来！

日本の植民地教育の実態を示す根本資料
(日本語教育用教科書・教師用指導書)
を体系的に編纂した初めての資料集成。
収録した教科書は全79冊。

竹中憲一編・解説

「満州」植民地 全7卷

日本語教科書集成



貔子窩公学堂の授業風景

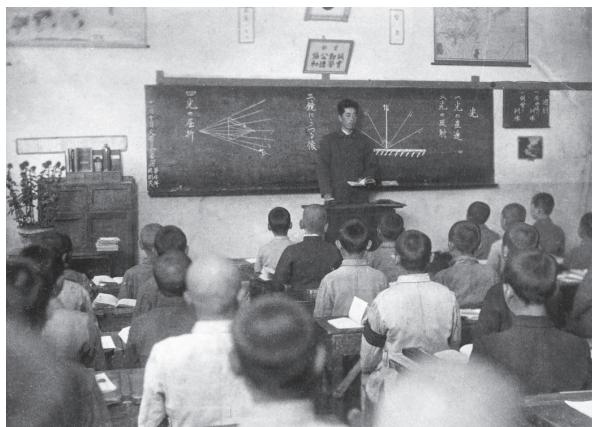
近年、戦前・戦中期の日本植民地教育史は、調査・研究の諸方面で大きな進展と成果を示している。資料の面では、教科書資料についてみれば植民地内居住の日本人子弟に対するものが中心であった。一方、日本の植民地教育・言語政策の根幹をなす植民地民衆に対する日本語教育・啓蒙の実態を知るための日本語教育資料は、これまでほとんど体系的に示されることはなかつた。

今回刊行する公的日本語教科書・教師用指導書は、「満州」及び「満州国」で主として中国人に對し、どの様な教科書を使用して、どの様な教育をしようとしていたのか、その実態を示す第一級の日本語教育史資料である。さうに「満州」のみならず、日本植民地教育史の空白を補う資料として大いに活用していただければ幸いである。



本「集成」の特色

- 一九二〇年～一九四一年までに「満州」及び「満州国」において発行された初級、中級、高級、速成用教科書及び「満州国」の教科書・教師用指導書を網羅した。本集成では、収集した教科書全七九冊(約九、九〇〇頁)を縮小(一頁四面付)して収録した。
- 各教科書の原初の形態・内容を示すため、できるかぎり初版・再版を収録した。
- 本集成では教科書を初級教材、中級教材、高級教材等の等級別に分類し、更に各等級の教材については教科書の変遷にあわせて時系列に配列した。
- 本集成によって日本の植民地教育の実態研究が促進されるとともに、同じ日本植民地であつた朝鮮・台湾等との比較研究が可能となつた。編者解説(第7巻所収)においても台湾・朝鮮と比較しつつ「満州」における日本語教科書の変遷を詳述。
- 日本語教授書類は、現代の教授法研究や現代日本語研究にとって、歴史的分析をする上で貴重な資料である。
- 本集成は語学的資料にとどまらず、広く日本の異民族同化政策、中国文化侵略の実際を分析する上でも貴重な資料群である。



西園子小学堂の授業風景（左上も同じ）

植民地日本語教育の実情を知る宝の山

上野田鶴子 (東京女子大学現代文化学部教授)

広く散逸していた旧満州における日本語教育の教科書である日本語読本を初級から上級まで全七巻に収めた膨大な資料である。教師のための指導参考書である教授書、教授参考書もあり、当時の日本語教育の基本的姿勢を詳細にみることができる。現在の日本語教育の背後には植民地教育の中軸となつた日本語教育があり、近年この分野の研究が盛んになっている。このように手にすることができる全七九冊が備えられたことは、宝の山が、突如、眼前に現れたのに等しい。

現地を行脚し宝の発掘にかけた編者の並々ならぬ努力に脱帽し、緑蔭書房に感謝する。この時代を知るためにも、宝の山を是非活用なさることを多くの方にお勧めしたい。

第一級の日本語教育史資料とその研究

奥津敬一郎

(東京都立大学名誉教授)

畏友竹中さんは、歩く人、見る人、集める人、調べる人である。しばらくご無沙汰していた竹中さんが、二年前「満州」における教育の基礎的研究(全六巻)の出たことを知り、驚嘆した。いつの間にこんな膨大な資料の蒐集と分析をやつてのけたのか。統いて今回の「満州」植民地日本語教科書集成(全七巻)である。「満州」から「満州国」に至る二〇年ほどの間の殆どの教科書一〇、〇〇〇ページ近くを集め詳細な解説を施している。脱帽である。

初等日本語讀本 卷一

初等日本語讀本卷一 教授参考書

總説の部

初等日本語讀本卷一 教授参考書は、日本語を教えるにあたる點が、それから何なるか、何を教えるか、これを

し方本位「実用主義」「文型尊重」の三大原則と、教授法として「直接教授」と「問ふも児童、答ふるも児童」という「問答」を強調している点など

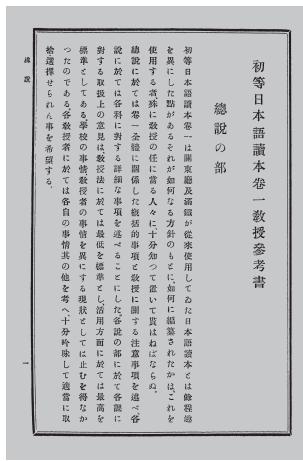
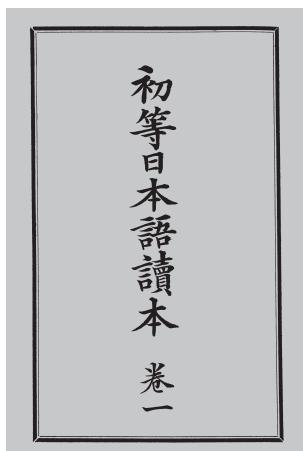
現代の教授法としてそのまま通用するので面白い。

更に日本語教育のみならず、「満州」から「満州国」への教育や日中関係の変化についても貴重な資料になることは間違いない。

第1巻 「初級教材一」

全巻の構成

南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本」卷1	一九二四年再版
南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本」卷2	一九二四年初版
南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本」卷3	一九二五年初版
南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本」卷4	一九二七年三版
南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本」卷5	一九二六年再版
南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本」卷6	一九二七年再版
南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本」卷7	一九二七年初版
南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本」卷8	一九二七年初版
南満州教育会編輯部「初等日本語読本卷一 教授参考書」(稿本)	一九二四年初版
南満州教育会教科書編輯部「初等日本語読本卷一 教授参考書」(稿本)	一九二四年初版
南満州教育会教科書編輯部「第二種初等日本語読本」卷1	一九三三年四版
南満州教育会教科書編輯部「第二種初等日本語読本」卷2	一九三三年初版
南満州教育会教科書編輯部「第二種初等日本語読本」卷3	一九三三年初版
南満州教育会教科書編輯部「第二種初等日本語読本」卷4	一九三三年初版
南満州教育会教科書編輯部「第一種初等日本語読本教授参考書」卷1	一九三二年初版
南満州教育会教科書編輯部「第一種初等日本語読本教授参考書」卷2	一九三二年初版
南満州教育会教科書編輯部「第一種初等日本語読本教授参考書」卷3	一九三二年初版
南満州教育会教科書編輯部「第一種初等日本語読本教授参考書」卷4	一九三二年初版
南満州教育会教科書編輯部「第二種初等日本語読本教授参考書」卷1	一九三二年初版
南満州教育会教科書編輯部「第二種初等日本語読本教授参考書」卷2	一九三二年初版



日本語教育史研究に必須の資料

甲斐睦朗

(国立国語研究所長)

近年、戦前及び戦時中のアジア各地域の日本語教育に関する調査・研究が様々な方面に広がりを見せて着実な実りを上げ始めている。この「満州」植民地日本語教科書集成は、当時「満州」で刊行された各種の日本語教科書を可能なかぎり収集して覆製版を出したものである。詳しい解説も加えられるとことこの、この『集成』の刊行によって、一九四五年以前の日本語教育史が一層具体化し、大きな枠組みとしての戦前・戦後を一つに結んだ日本語教育史の構築が期待される。

日本の植民地教育研究の基礎資料

木村宗男

(元早稲田大学教授・元日本語教育学会副会長)

旧満州における日本の植民地教育の根幹であった日本語教育の実態を知るには、今や、日本語教科書(日本語読本)と教授参考書に頼るほかないのが実情である。竹中憲一氏編・緑蔭書房刊の『「満州」植民地日本語教科書集成』(全七巻)は他に類を見ない貴重な資料である。多年中国で研究生活を送った竹中氏は、持ち前の語学力と中国社会事情についての豊富な知識によって、現地の書庫や蔵書などの中に多年埋没していた各級読本と教授参考書を丹念に掘出して、およそ九五%を修復したといふ。竹中氏によらなければ日の目を見るこのなかつたであろう貴重な資料を前にして、私も研究意欲が沸いてくるのを覚えるのである。

散逸の資料を博搜した労苦に感謝

金田一春彦

(国語学者)

第2巻 「初級教材」



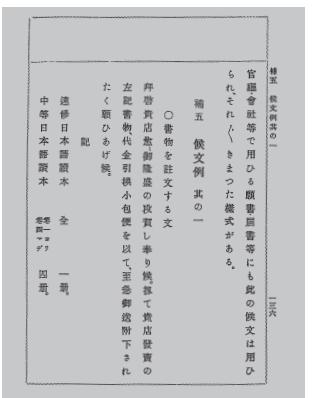
本当の意味での国際化時代を迎えて、日本語教育も新しい時代を迎えるとしている。私たちは過去の不幸な歴史により、旧時代との断絶があるかのように思っていた。しかしそれが錯覚であることに、ようやく気付いてきた。今、それがどのような過去であったのかを、冷静に判

南満州鉄道株式会社教育研究所「中等日本語読本」卷1 一九三一年初版
南満州鉄道株式会社教育研究所「中等日本語読本」卷2 一九三一年初版
南満州鉄道株式会社教育研究所「中等日本語読本」卷3 一九三三年再版
南満州鉄道株式会社教育研究所「中等日本語読本」卷4 一九三二年初版
南満州教育会教科書編輯部「中等日本語読本」卷1 一九三二年五版
南満州教育会教科書編輯部「中等日本語読本」卷2 一九三三年五版

断する必要がある。

竹中氏は破棄され散逸した旧満州国日本語教科書を、中国大陆において搜し求め、その九五%集め得たという。その労苦に感謝したい。

この集成によつて、日本語教育関係者のみならず多くの近現代史研究者が益するところははかりしれないと信じる。



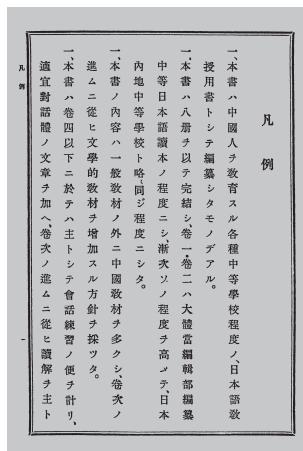
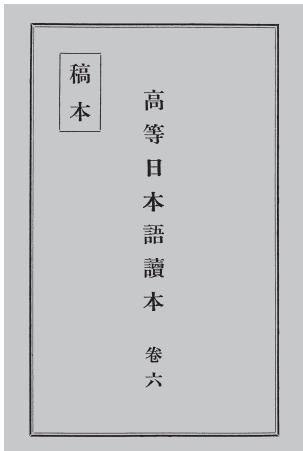
「満州」の日本語教育の実際に触れることが可能になった

佐治圭三 (京都外国语大学契约教授)

旧「満州」において日本が行つた教育を研究テーマとして、『「満州』における教育の基礎的研究』(全六卷 柏書房 一九〇〇〇〇年)という大著

を公にされた竹中憲一氏が、その研究の一環として、大変な苦労をして集められた『満州』における日本語教科書及び教授法指導書(全七九冊)に詳しい解説を付して、『「満州」植民地日本語教科書集成』として、緑蔭書房から出版されるという。竹中氏にしてはじめてなし得たことであ

り、それによつて我々は、「満州」における日本語教育の実際に触れることが可能になつたことを喜びたい。この書によつて、日本語教育史研究や日本と中国の過去の歴史の研究に新たな光が当てられ、さらには日本と中国の友好がより確かなものになつていくことを期待して、多くの方々にお勧め申し上げたい。



第4卷 「高級教材一」

南満州教育会教科書編輯部「高等日本語読本」卷1 (稿本)	一九二一七年三版
南満州教育会教科書編輯部「高等日本語読本」卷2 (稿本)	一九二六年初版
南満州教育会教科書編輯部「高等日本語読本」卷3 (稿本)	一九二六年再版
南満州教育会教科書編輯部「高等日本語読本」卷4 (稿本)	一九二七年再版
南満州教育会教科書編輯部「高等日本語読本」卷5 (稿本)	一九二七年再版
南満州教育会教科書編輯部「高等日本語読本」卷6 (稿本)	一九二六年初版
南満州教育会教科書編輯部「高等日本語読本」卷7 (稿本)	一九二六年初版
南満州教育会教科書編輯部「高等日本語読本」卷8 (稿本)	一九二六年初版

中国人に対する各種中学校程度の日本語教授用として編纂されたもので、一般教材の他、卷次が進むにつれ文学的教材を増やし、日本国内の中学校と同じ程度にしているのが特徴である。

南満州教育会教科書編輯部「中等日本語読本」卷3	一九三三年五版
在満日本教育会教科書編輯部「中等日本語読本」卷1	一九三九年改訂四版
在満日本教育会教科書編輯部「中等日本語読本」卷2	一九三九年修正三版
在満日本教育会教科書編輯部「中等日本語読本」卷3	一九三九年改訂七版
在満日本教育会教科書編輯部「中等日本語読本」卷4	一九三九年改訂六版

南満州鉄道株式会社教育研究所「中等日本語読本」は公学堂高等科生徒用として編纂したもので、同程度の学校及び学習者でも利用できるようにしている。中国教材を主とし、実用・文学教材を多く採用し、又対話教材を加え、会話練習に便利な編纂が特徴である。南満州教育会教科書編輯部「中等日本語読本」は前記「中等日本語読本」を改訂したもので、「初等日本語読本」(南満州教育会教科書編輯部)、「新編速成日本語読本」を改訂した程度の日本語学習者のために編纂したもの。平易な口語体を中心に日常生活に關係の深い教材を多く選んでいる。

日本語研究史からの期待

宮島達夫

(国立国語研究所名譽所員)

今回復刻される『満州植民地日本語教科書集成』第一巻に収録された『初等日本語読本卷一教授参考書』には、「ティマスは動作の終つた静止状態と動作の進行の有様の両方を表す語である。本課の様な簡単な動作では静止状態を表す事が多いから、其の方だけ教へるのがよいと思ふ。」(二八頁)とある。この本の出版された大正一三年といえは、動詞のアスペクトがまだほとんど注目されていなかつた時期である。伝統的な国語学は奈良・平安の古典にばかり関心をよせていて、そのプランクをうめて最近のさかんな現代語研究に道を開いたのが、外国人への日本語教育であることは、よく知られている。日本語教育の資料の発掘は、したがつて、日本語研究史の面からも期待される。

次代の研究者にも大きな意義ある出版

吉岡英幸

(早稲田大学大学院日本語教育研究科委員長)

戦前の日本語教科書は、多くが散逸し、どこに何があるかも一部しかつかめていない状況である。図書館などで存在が確認できても、傷みが激しいため、コピーはもちろん閲覧も禁止している所が多い。こうした資料を後世に残す手立てを講じることは急務である。このたび、竹中憲一先生が多大な時間と労力をかけ国内外で収集された資料が、『満州植民地日本語教科書集成』として出版されることになった。次代の研究者にとってもその意義は計り知れない。まことに喜ばしいことである。

日本口語法提要全

第一章 品詞

名詞の單數複數

のやうな形で複数を表すことがある。
(4) 同じ名詞を重ねること。

(2) 名詞の下に「がた」「も」「だら」を附けること。但し、是れは人

人々 山々 島々 隅々

第5巻 「高級教材」

南満州教育会教科書編輯部『高等日本語読本』卷1 一九三三年三版

南満州教育会教科書編輯部『高等日本語読本』卷2 一九三三年再版

南満州教育会教科書編輯部『高等日本語読本』卷3 一九三三年初版

南満州教育会教科書編輯部『高等日本語読本』卷4 一九三三年初版

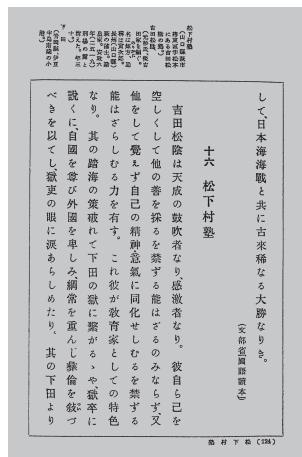
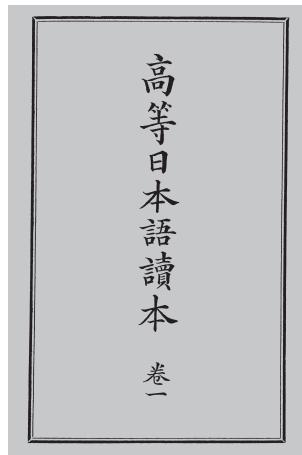
南満州教育会教科書編輯部『高等日本語読本』卷5 一九三三年初版

南満州教育会教科書編輯部『高等日本語読本』卷6 一九四二年七版

南満州教育会教科書編輯部『高等日本語読本』卷7 一九四一年改訂四版

関東局在満教務部教科書編輯部『高等日本語読本』卷8 一九四〇年改訂初版

各種中等学校程度の日本語教科書として編纂したもので『中等日本語読本』(南満州教育会教科書編輯部)の卷4と連続し、漸次高めて日本国内の中等学校の程度を達成できるよう編纂。口語文から漸次文語文を増加させる方針をとつていて。



第6巻 「速成教育教材」

奉天外國語学校『速修日本語読本』全1巻 一九二四年一二版

南満州教育会教科書編輯部『新編速成日本語読本』卷1 一九三三年一版

南満州教育会教科書編輯部『新編速成日本語読本』卷2 一九二九年三版

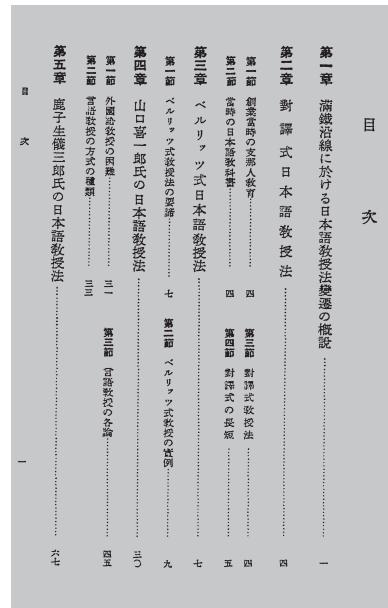
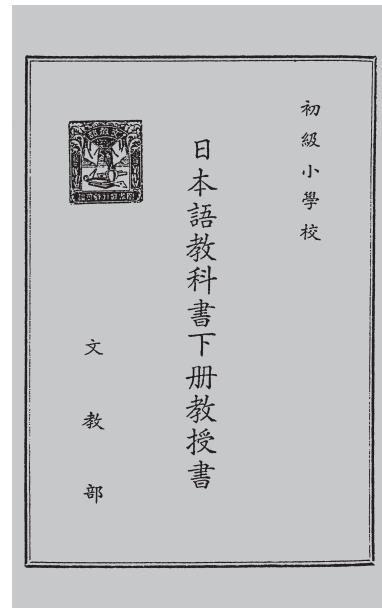
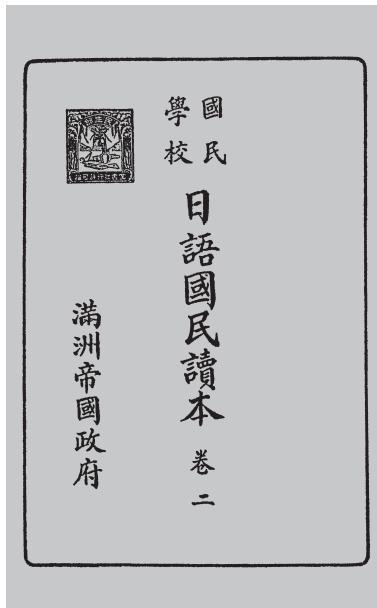
南満州教育会教科書編輯部『新編速成日本語読本』卷3 一九二八年再版

南満州教育会教科書編輯部『新編速成日本語読本』卷4 一九二九年再版

南満州教育会教科書編輯部『速修日本語読本』上巻 一九三三年三版

南満州教育会教科書編輯部『速修日本語読本』下巻 一九三三年初版

満鉄初等教育研究会第一部『満鉄沿線に於ける日本語教授法の変遷』 一九三二年



編者が長年にわたり調査・収集した約1万頁余の教科書全79冊を体系的に網羅した待望の資料集。

第七卷
[満州国教科書]

「満州國」成立後、「日本語教科書」初級小学校は一九三四年に上下が、 高級小学校は一九三五年に上下が文教部より発行された。『国民学校 教育制度改革により、一九三八～三九年にかけて民生部より卷一～半 特徴である。原本には発行表示しかないが初版がわかるものは表示し 解説	「満州國文教部『日本語教科書』上冊 初級小学校 満州國文教部『日本語教科書』下冊 初級小学校 一九三五年
満州國文教部『日本語教科書』上冊 高級小学校 一九三五年初版	満州國文教部『日本語教科書』上冊 初級中学校 一九三五年
満州國文教部『日本語教科書』中冊 初級中学校 一九三五年初版	満州國文教部『日本語教科書』下冊 初級中学校 一九三五年初版
満州國文教部『日本語教科書』下冊 初級中学校 一九三五年初版	満州國文教部『日本語教科書上冊教授書』初級小学校 一九三五年
満州國文教部『日本語教科書下冊教授書』初級小学校 一九三七年初版	満州國文教部『日本語教科書上冊教授書』高級小学校 一九三七年初版
満州國文教部『日本語教科書下冊教授書』高級小学校 一九三七年初版	満州國民生部『国民学校日語国民読本』卷2 一九三八年初版
満州國民生部『国民学校日語国民読本』卷3 一九三八年初版	満州國民生部『国民学校日語国民読本』卷4 一九三九年初版

「満州」における日本語教科書の変遷（竹中憲一）

「満州国」成立後、「日本語教科書」初級小学校は一九三四年に上下が、「日本語教科書」高級小学校は一九三五年に上下が文教部より発行された。『国民学校日語国民読本』は、教育制度改革により、一九三八（三九年）にかけて民生部より卷一～卷四が発行された。「満州国」において使用された公的教科書で、日本語を「満州国」の国語の一つとして重視する方針の下に編纂され、従来の会話体の文章より記述体の文章が多くなっているのが特徴である。原本には発行表示しかないが初版がわかるものは表示した。

「速修日本語読本」は日本語を速成で学習しようとする人のために編纂されたもので、独習の便を考えてフリ仮名を多くつけ、教材も日常生活に必要な事項を集めているのが特徴。『新編速成日本語読本』も編纂目的は同じであるが、『初等日本語読本』（全八巻）と同程度の日本語を速成的に学習しようとする人のために編纂したもので、分量も半分であるが、『中等日本語読本』に進めるようにしてあるのが特徴である。『速修日本語読本』（上・下巻）はヒラ仮名を多く使用し、会話を中心に編纂し、会話練習に便利なようにしたのが特徴。『日本口語法提要』は日語学堂・公学堂・実業補習学校の日本口語法教授の大要を理解させるために編纂したもの。『満鉄沿線に於ける日本語教授法の変遷』は中国人教育の開始より二〇数年の日本語教授法の変遷に関する研究をまとめたものである。

◆竹中憲一（早稲田大学教授）編・解説

「満州」植民地日本語教科書集成

◆刊行概要

編集復刻版（一頁に四面付（総九九〇〇頁）とし、縮小収録した）
全7巻（四六判・上製クロス装・ケース入り）

刊行＝1900年八月下旬一括刊行

◆推薦

上野田鶴子（東京女子大学現代文化学部教授）

金田一春彦（国語学者）

奥津敬一郎（東京都立大学名誉教授）

佐治圭三（京都外国语大学契約教授）

甲斐睦朗（国立国語研究所長）

宮島達夫（国立国語研究所名誉所員）

木村宗男（元早稲田大学教授元日本語教育学会副会長）

吉岡英幸（早稲田大学大学院日本語教育研究科委員長）

◆おすすめしたい方

日本教育史・日本植民地史・近代日本史の研究者

日本語教育研究者、民族教育研究者、国語研究者

大学図書館・公共図書館、及び関係研究機関など

◆定価

単本体価格120,000円+税（分冊せざつません） ISBN4-89774-508-X C3037

緑蔭書房

173-0004 東京都板橋区板橋 1-13-1 TEL 03 (3579) 5444

取扱書店